

製品名: BCKDK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07494**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	BCKDK
別名	BCKDK; [3-methyl-2-oxobutanoate dehydrogenase [lipoamide]] kinase; mitochondrial; Branched-chain alpha-ketoacid dehydrogenase kinase; BCKD-kinase; BCKDHKIN
遺伝子 ID	10295.0
SwissProt ID	O14874
免疫原	抗血清はヒト BCKD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

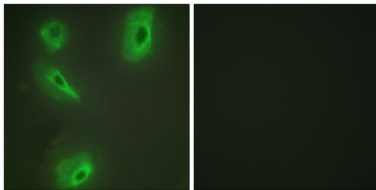
分岐鎖 α -ケト酸脱水素酵素複合体 (BCKD) は、バリン、ロイシン、イソロイシンの分解経路の重要な調節酵素です。この遺伝子に

よってコードされるタンパク質はミトコンドリアに存在し、BCKDをリン酸化して不活性化します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2012年12月],触媒活性: ATP + [3-メチル-2-オキソブタン酸脱水素酵素 (アセチル基転移型)] = ADP + [3-メチル-2-オキソブタン酸脱水素酵素 (アセチル基転移型)] リン酸機能: パリン、ロイシン、イソロイシンの分解経路の重要な調節酵素である分岐鎖 α -ケト酸脱水素酵素複合体のリン酸化と不活性化を触媒します。BCKD複合体の活性状態を制御する重要な酵素。、PTM:自己リン酸化。、類似性:PDK/BCKDKタンパク質キナーゼファミリーに属する。、類似性:1つのヒスチジンキナーゼドメインを含む。、サブユニット:モノマー。、組織特異性:普遍的。、

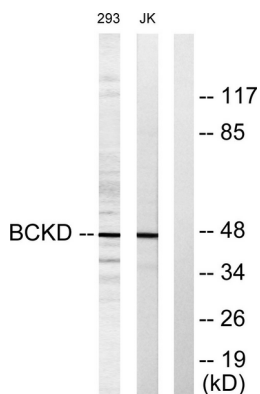
研究分野

タグと細胞マーカー; 細胞内マーカー; 細胞小器官; ミトコンドリア; シグナル伝達; 代謝; アミノ酸; ミトコンドリア; 代謝; 経路とプロセス; ミトコンドリア代謝; ミトコンドリアマーカー; アミノ酸代謝

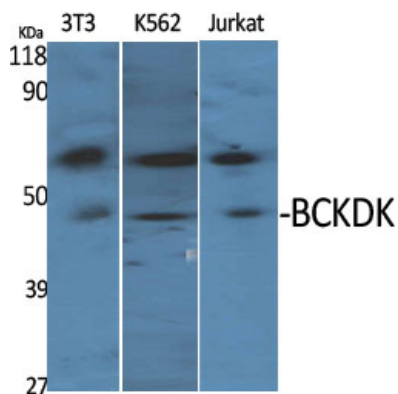
画像データ



BCKD抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態です。



BCKD抗体を用いたJurkat細胞および293細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



BCKDKポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

BCKDK ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析

